

令和4年度 奨学生募集要項

1. 奨学金の性格

給与奨学金（返還の義務はありません）

2. 給与金額

大学奨学生 20,000円/月

大学院奨学生 20,000円/月

3. 応募資格

① 東京都内の大学又は大学院で理工学を学ぶ者

② 健康でかつ学業の成績が優秀な者

③ 経済的理由により学費の支弁が困難である者

世帯合計年収上限は1000万円、500万円以上1000万円未満は願書奨学金志望の理由欄に学費支弁が困難な理由を記入すること。所得の種類、金額、世帯構成、進学形態、家庭の事情などをすべて考慮する。

④ 本会が主催する行事に出席できる者

(1) 奨学生生活状況報告会 5月

(2) 奨学生の集い 9月11日(日)予定

⑤ 奨学金支給開始までにゆうちょ銀行口座を用意できる者

4. 対象学年

大学生 : 令和4年4月に2年次生から4年次生として在学する者

大学院生 : 令和4年4月に修士1年次生又は2年次生として在学する者

5. 募集人数

21名

6. 奨学金の支給期間

奨学金の支給期間は、原則として在籍する学部の最短修業年限になります。

7. 奨学金の支給方法

奨学金は、3ヶ月分を併せて年4回本会の指定月（4月、7月、10月、1月）に本人名義のゆうちょ銀行口座へ振り込みます。（奨学生採用後の最初の支給につきま

しては、1回目と2回目を併せて7月に行います。)

8. 応募するための必要書類

- ① 連帯保証人と連署した奨学生願書、及び写真（最近6ヶ月以内に撮影のもの、上半身・正面・脱帽）
- ② 在学する学長または学部長の推薦書
- ③ 成績証明書
- ④ 所得証明書（源泉徴収票令和3年分もしくは課税証明/非課税証明書令和2年度分）
- ⑤ 小論文

課題A Bのうち、どちらかを選択して小論文を書いて下さい。

字数制限：原稿用紙2枚以上3枚以内

原稿用紙：本会指定の原稿用紙に自筆で作成のこと

課題A

ノーベル賞物理学者である Richard Feynman 教授がその著書”Six Easy Pieces”のなかで一部言及しているごとく、人間は自然からの災害・強襲に対しては殆ど成す術がない。それが台風であれ、地震津波であれ、火砕流であれ、そして今回の新型コロナウイルスであれ人間の知恵、最新科学力をもってしても対処法はなかなか見つからない。

そんな壁を破る一例として、新型コロナに対しては外国の薬品会社である Pfizer 社、MODERNA 社、Astra Zeneca 社、Johnson and Johnson 社などはその多くが最新の遺伝子工学を用いてワクチンを驚異的な速さで開発し人類を救済しているといっても過言ではない。

一方、科学立国日本は2年以上たってもいまだに何も出せていない。そして日本のコロナ対処はこれら外国製薬会社のお情けでワクチンを分けて貰うしか他に手段がない。

科学者、技術者としてスタートした諸君は、このような日本の科学技術レベル、現状をどう判断するかその見解を述べてください。

課題B 「カーボンニュートラルと自動車産業の動向」

2020.10.26 菅元首相は所信表明演説のなかで「2050年迄に温室効果ガス排出ゼロにする為、カーボンニュートラル(以降、CNと表記)を目指す」と宣言しました。その為に「2035年までに乗用車新車販売を100%電動車(EV)にする」と表明しています。

日本に先立ち、欧州、米国、中国 他各国も既に2030年 or2035年 or2040年にはエンジン車の新車販売禁止の方針を打ち出しています。

今後、日本のEVシフトの為に 軽自動車などの低コストEV車の技術開発、産業構造の変換、電力システム、給電インフラの整備、生産拠点課題、補助金支援などの課題が様々あります。また、日本生産車1000万台の半数は輸出用です。CNの達成は輸出する為の必須要件でもあります。多くの自動車メーカー、部品サプライヤーは今後の経営を左右する厳しいハードルへチャレンジを始めています。

この様ななか、自工会(日本自動車工業会)は2021.9.16に「2050年CNに向けた取り組み」を発表しました。そのなかの基本前提の1つとして「CNを目的とする多様な選択肢の維持」を打ち出しています。

これは「CNの為にEV化一辺倒」とする 現在の世界、日本政府の流れとは若干ニュアンスが異なります。

・この自工会の方向性について、理工学生である、あなたなりの意見を述べてください。

<追記>参考に問います。

・EVはあなたにとって魅力的ですか？

9. 出願方法

- ・本人からの直接応募は受け付けておりません。

- ・在学する大学の学長または学部長の推薦を受けて下さい。
- ・推薦書及び必要書類は、奨学金担当窓口より本会事務局宛に送付して下さい。

【応募先】 〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
公益財団法人オーディオテクニカ奨学会 事務局

- ・新しい生活様式に対応し応募書類の緩和措置を講じます。
書類原紙ではなく PDF データ等での提出も可とする
成績証明、所得証明等の個人情報を含むためパスワード設定のうえ
奨学会メールアドレス zaidan@audio-technica.co.jp へ送信

10. 出願期間

- ・令和4年4月1日から令和4年5月9日迄
- ・応募書類は、締切日(5月9日)までに本会に到着したものを有効とします。
- ・締切日を過ぎての到着分、及び提出書類に不備があるものは無効とします。
- ・提出書類の返却は行いません。

11. 選考・採用方法

一次選考：書類・小論文審査 5月17日(火)

二次選考：面接 5月31日(火)

面接選考は令和4年5月31日(火) オーディオテクニカ(文京区/テクニカハウス)において実施する予定です。面接時刻詳細については、面接対象者に通知します。面接を欠席されますと失格となりますのでご注意ください。

12. 採用通知

結果は、在学学長または学部長を通じて本人に文書で通知します。

13. 奨学金の停止又は打ち切り

奨学生が次の各号の一に該当した場合は、奨学金を停止する又は打ち切ることがあります。

- ① 傷病のため成業の見込みがなくなったとき
- ② 学業成績*又は性行が著しく不良になったとき
- ③ 奨学金を必要としない理由が生じたとき
- ④ 奨学生として適当でない事実があったとき
- ⑤ 在学学校で処分を受け学籍を失ったとき
- ⑥ 重要な事項に変更があった場合の届出義務を怠ったとき
- ⑦ 奨学生としての資格を失ったとき

*学業成績の著しい不良とは、進学するために必要な常識的な単位数を取らなかった場合のことをいう。

14. その他

他奨学金等との併願、併給も可能です。

以上

公益財団法人オーディオテクニカ奨学会

〒194-8666 東京都町田市西成瀬 2-46-1

<https://www.audio-technica.co.jp/corp/foundation/>

【事務局】

お問い合わせ TEL：(042)739-9171 FAX：(042)739-9110

電話受付 平日 9:00～12:00 13:00～17:00（土・日・祝を除く）

お問い合わせ Eメール：zaidan@audio-technica.co.jp